

【科目情報】

授業コード	1KDA022003		
授業科目名	ソーシャル・イノベーション研修: SIGLOC		
担当教員氏名	中島 義裕、布施 邦子、中井 一芳		
開講年度・学期	2022年度後期	曜日・コマ	集中講義
授業形態	演習		
配当年次	1年	単位数	4.0単位

【シラバス情報】

授業概要	<p>授業のテーマは、SDGs：地球規模の課題解決に向けた地域コミュニティにおけるソーシャルイノベーションです。米国のアンドリュース大学の学生や、オンラインで参加する世界中の学生と共に、社会課題を発見し解決策を提案します。可能であれば、案を一歩進めることを目指します。</p> <p>このSIGLOCのクラスは3週間の集中プログラムとして開講されます。ソーシャル・イノベーション(Social Innovation)とは、新しい商品やサービス、制度によって社会問題を解決することです。他国の学生とのコラボレーションを通して、「社会課題を発見」し、「創造的な解決策を見つけ」、それらの「解決策を実行する」チカラを涵養します。将来、行政やNPO、企業などで実際にソーシャルイノベーションを担う人はもちろん、主体的に問題発見・解決に取り組む人を育成するプログラムです。</p> <p>この授業では、大阪・関西地域の地域団体や地元企業での現地調査をもとに課題を発見し、その解決策を提案したうえで現場で試行・検証する機会を持ちます。プログラムの最後には、グループでソーシャルイノベーション(SI)レポートを作成します。このクラスは英語で提供されます。</p> <p>■参考資料 SIコースの案内動画(2分30秒) https://web.microsoftstream.com/video/e65ae134-4fd8-4c38-a913-49e49be928e6</p> <p>SIGLOC-onlineの案内動画(4分34秒)日本語字幕をonにしてください。 https://web.microsoftstream.com/video/bbad62d2-a0b9-4739-8bb9-ca67a14fd8f4</p> <p>※この授業は、文部科学省「大学の世界展開力強化事業」採択事業である「日米をつなぐ共創的ソーシャルイノベーション育成プログラム」の一環として開講されます。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. テーマに関して適切な文献を選び出した上で、その有用性について他者が理解できるように説明できる。 2. 様々な立場における様々な論理構成を俯瞰し、相互の関係を明らかにすることができる。 3. 与えられたテーマに関して複数の視点から考察し、課題を発見できる。 4. 発見した課題を客観的かつ俯瞰的な立場から評価し解決策を提案できる。 5. 上記で提案した解決を実現するための創造的活動を提案できる。 6. リーダーシップを発揮し他者ととも与えられたゴールを達成できる。

授業回	各回の授業内容	各回の事前・事後の学習内容
授業内容	2023年3月6日-3月24日の集中講義として実施します。 アクティブラーニングとして、学生が行うタスクが指示され、それを実施する形で進めます。およそ1日に1~2タスクが与えられます。	
事前・事後学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> *この科目はアクティブラーニングですので、授業時間、事前・事後学習には分けることなく、与えられたタスクを提出期限までに実施することが求められます。 *2月にはアンドリュース大学の学生とCOILによる事前学習をし交流する機会を持ちます。 	
成績評価方法	それぞれの到達目標について、それぞれのセッションのタスクが割り当てられおり、それらタスクの内容で評価します。また、それぞれのタスクはペアワークやグループワークにより進行するため、期日までに実施することが求められます。指示された事を、指示通りの時間までに実施していれば合格の最低基準を満たすと考えられます。	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> *履修登録前に事前審査が必要です。 *この講座は大阪公立大学と大阪市立大学の両方で開講されている科目です。 大阪公立大学の方へ(新1年生)：副専攻科目です。副専攻を修了するには必須科目ですが、副専攻修了を目指さない方でも履修は可能です。但し、卒業単位には算入されません。 大阪市立大学生の方へ：全学共通科目であり、SIコースの必修科目です。卒業単位になります。 *卒業年次生は単位を伴う履修登録をすることができません。ただし、単位の対象外として研修プログラムに参加することはできます。 *杉本キャンパスの教室もしくは、フィールドリサーチ先で行います。 	
教科書	プログラムの中で適宜配布します。	
参考文献	プログラムの中で適宜指示されます。	
オフィスアワー	毎朝日本時間11時	
教員への連絡方法(メールアドレス等)	Slackを利用する。	

